

## 特許紹介

研究企画部 研究推進グループ 知的財産チーム

### 1 審査請求期間短縮についてのお知らせ

出願した特許の実体審査は審査請求という手続を経て始められます。その審査請求期間が現行の7年から3年に短縮されます。

対象は平成13年10月1日出願のものからです。

これは、平成11年の特許法等の改正において、長期間にわたり権利化の未確定な出願が大量に存在する現状を改善するために定められたものです。

当社では、審査請求未実施件名の審査請求要否調査は期限年度の前年度に各部に依頼を行っています。15年度以降については期間の違う2種類の審査請求調査が混在することになりますので、対応をお願いします。

### 2 特許の手続について

特許は出願しただけでは権利を取得することができません。第1図「特許の手続」に示すように、特許権取得のための種々の手続を経て特許を取得することができます。

特許を出願し審査請求をすると実体審査が行われ、第2図「特許になる発明」に示すように、特許の条件を満たしていれば特許査定がなされ、特許料の納付により特許登録原簿に登録されて特許権が成立します。なお、特許の登録率<sup>(注1)</sup>は近年では65%を超えています。

また、事業展開に支障となる特許については、その権利化等を阻止するための手続も種々あります。特許の権利化等を阻止するための手段として、刊行物等を提示して条件を満たしていないことを主張する審査官への情報提供や異議申立および無効審判等があります。

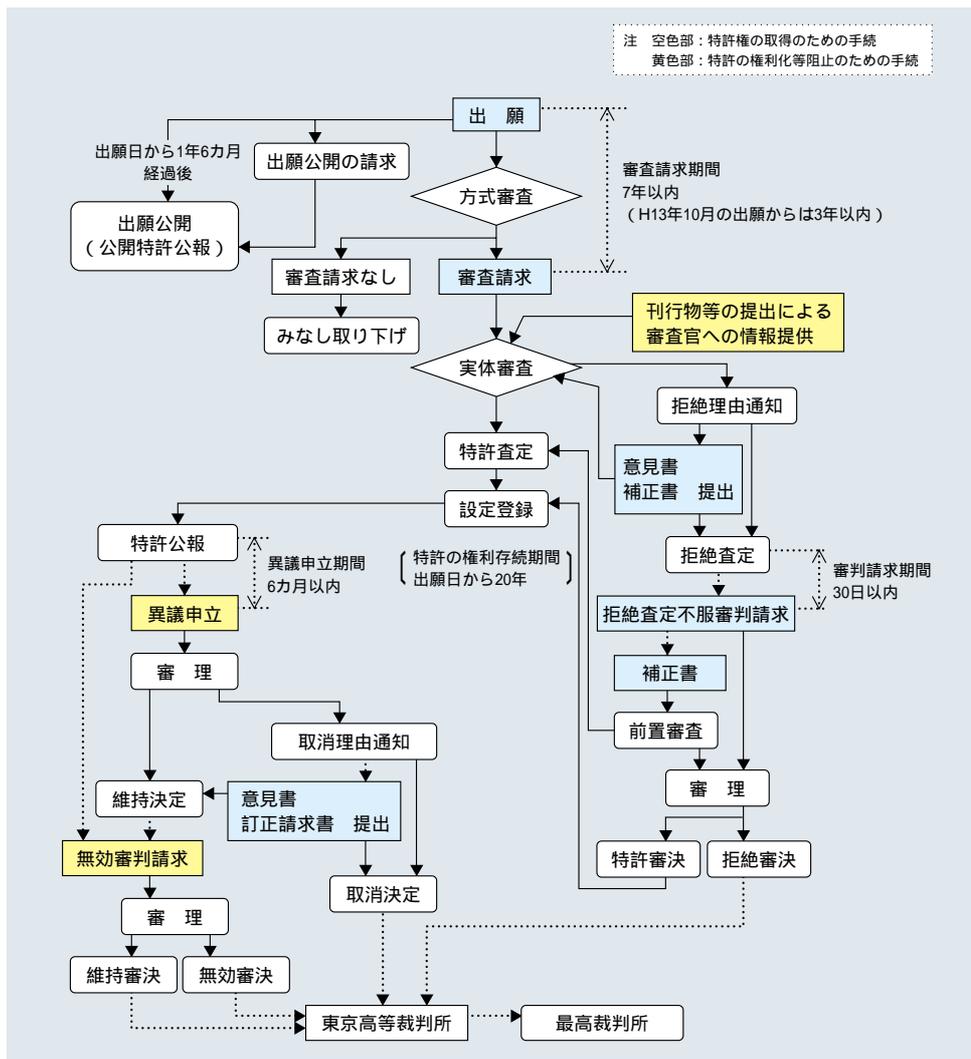
特許情報は特許庁特許電子図書館( IPDL )<http://www.ipdl.jpo.go.jp/homepg.ipdl>等で見ることができます。事業展開に有利な武器として、特許制度をうまく活用していくため、ぜひ特許情報を覗いてみてください。

### 3 設定登録を受けた特許（平成13年2月）の紹介

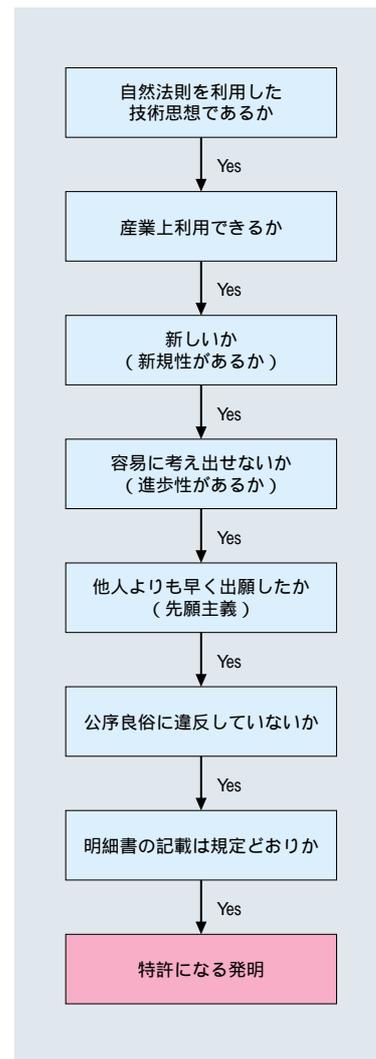
以下に掲載いたしました特許に関するお問い合わせ等は、研究推進グループ知的財産チームをお願いします。

種別	登録番号	登録年月日	発明等の名称	当社発明者	共有権利者	当社技術主管部署
特許	3153951	2001/2/2	電線被覆の皮むき工具	小林 和男 小山 裕一	東神電気(株)	本店 配電部 技術グループ
特許	3153954	2001/2/2	電線被覆の皮むき工具用複合電線コマ	寺島 敬雄	(株)トーエネック 東神電気(株)	本店 配電部 技術グループ
特許	3155564	2001/2/2	送電線絶縁吊下部の鳥害防止装置	川島 孝雄 嶺山 秋夫	古河電気工業(株)	電力技術研究所 電力グループ 送变电チーム
特許	3155583	2001/2/2	揚水発電所の制御方法	高橋 信弘 手塚 義文 田中 正和 村田 利雄	(株)日立製作所	本店 工務部 発電電グループ
特許	3155662	2001/2/2	地絡電流抑制装置及び地絡電流抑制方法	杉本 重幸 根尾 定紀	(株)日立製作所	電力技術研究所 システムグループ 系統チーム
特許	3160394	2001/2/16	導電性金属部材の接続構造	丸山 家立 池田 幸一	三和テック(株)	本店 工務部 技術開発グループ

注1：登録率 = 登録件数 / (登録件数 + 拒絶査定件数)



第1図 特許の手続



第2図 特許になる発明



執筆者 / 三浦 要  
Miura.Kaname@chuden.co.jp

編集部便り

書籍紹介

研究者必読

「失敗学のすすめ」

著者 畑村 洋太郎  
発行 講談社

得てして成功談に人は酔いしれやすいが、本著は影に潜む数多くの失敗事例から学ぶ姿勢こそ大事と説く。失敗情報を隠さず、堂々と議論し、今後に活かす企業風土が肝要。同種本に最近文庫版にもなった「失敗の本質(ダイヤモンド社)」も参考。



「怒りのブレイクスルー」

著者 中村 修二  
発行 集英社

ノーベル賞級の発明とも評され、20世紀中には不可能な最先端技術と言われていた高輝度青色発光LEDの成功自叙伝。電力会社勤務の父を持つ著者は昨年より米国大学教授として、教育問題等日本の現状に鋭い提言を説く。なお青色LED生産に関し現在複数社間で国内史上最高水準と言われる100億円を超える特許損害賠償請求訴訟中である。

